

エコアクション21

# 環境活動レポート・2016



対象期間 2016年4月1日～2017年3月31日

作成日：2017年5月20日

発効日：2017年6月1日

岐阜スバル自動車株式会社

 GIFU SUBARU

～ 目 次 ～

	頁
目次	2
【1】 会社概要	3
【2】 推進組織図	4
【3】 店舗一覧	5
【4】 環境方針	6
【5】 数値実績の推移	7
【6】 環境目標 [目標値]	9
【7】 2016 年度の取組	10
【8】 2016 年度の実績	11
I. 数値実績	11
II. 取組結果と評価	12
III. 取り組み事例	13
【9】 次年度の取組	14
【10】 環境関連法規への違反・訴訟の有無	15
【11】 代表者の評価、見直し	15

# 【 1 】 会社概要



## I. 事業者名

岐阜スバル自動車株式会社

## II. 所在地

岐阜県岐阜市細畑一丁目7番15号

## III. 代表者氏名

代表取締役社長 和田 哲也

## IV. 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者	営業本部長	沼 耕一
E A 2 1 推進事務局	名古屋スバル自動車 CSR 推進部	西尾 護
E A 2 1 推進担当者	営業支援部 支援課	小櫻 晃
	サービス課	木野 誠司
補佐	名古屋スバル自動車 CSR 推進部	山崎 学

連絡先

TEL : 058-245-4126

FAX : 058-248-5259

## V. 事業の内容

自動車販売修理（整備）業 部品・用品販売業

損害保険代理店業及び自動車損害保険賠償法に基づく保険代理業

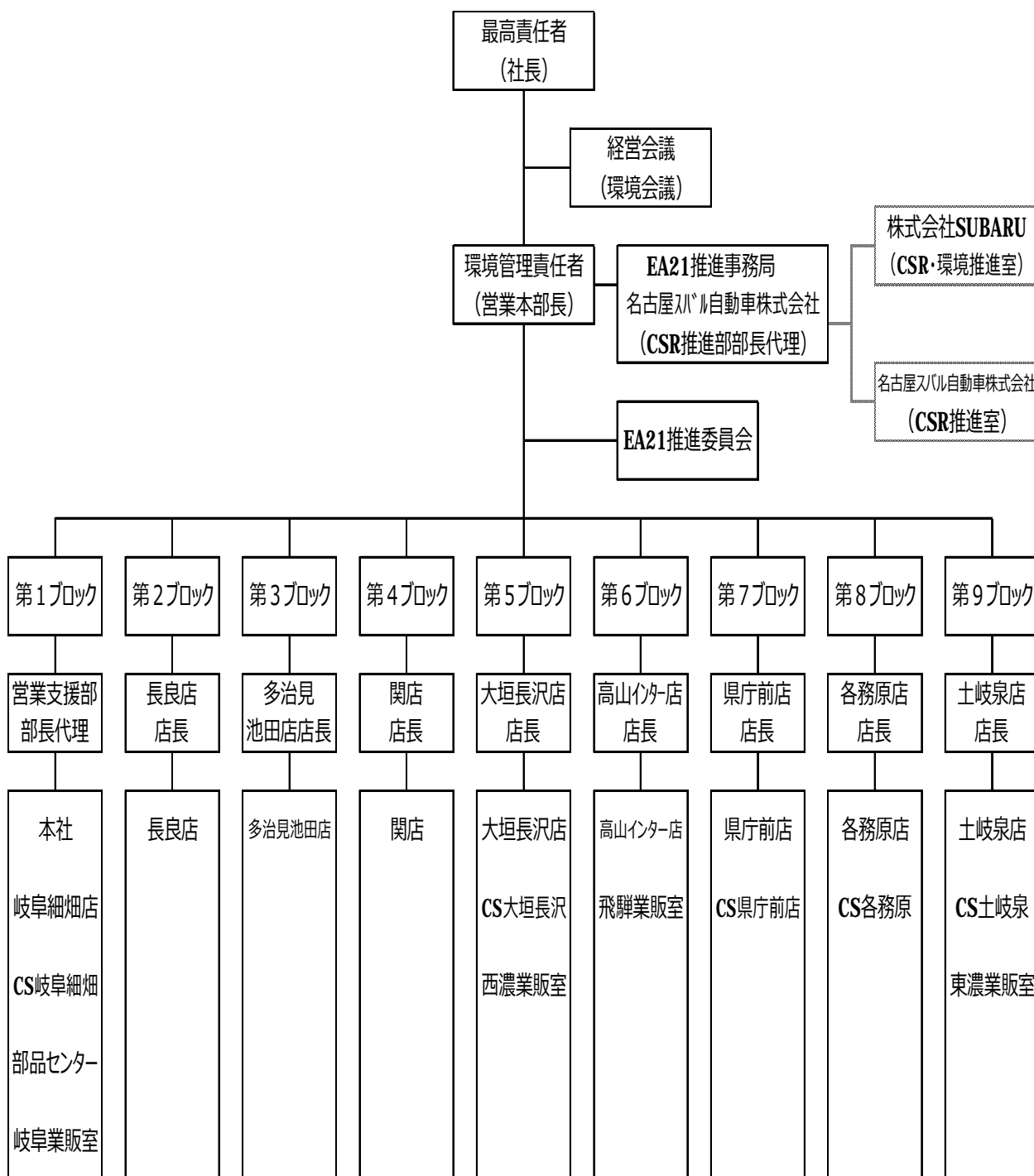
## VI. 事業の規模（2016年度実績）

売上高	9, 355百万円
新車販売台数	2, 919台
中古車販売台数	1, 630台
従業員（派遣・パート含む）	174人
店舗数	新車9店舗、中古車5店舗（併設）

## VII. エコアクション 21 承認・登録範囲

本社を含む全組織、全活動が対象である

## 【 2 】 推進組織図



# 【3】店舗一覧



事業所名	郵便番号	住所	連絡先	電話番号	FAX番号	面積(坪)		工場 資格	組織区分	
						土地	建物			
1 本社	500-8238	岐阜県岐阜市細畑1丁目7番15号	小櫻 晃	058-245-4126	058-245-5259	1749.0	885.3	指定工場	A	
	500-8238		小川 恒好	058-245-4129					B	
	500-8238		久我 央	058-245-4120	058-245-8479				C	
	500-8238			058-245-8560	058-245-8480				B	
	500-8238			058-245-8481	058-245-6571				A	
2 長良店	502-0081	岐阜県岐阜市長良3丁目270	小川 康則	058-296-1420	058-296-1421	541.6	223.2	指定工場	C	
3 多治見池田店	507-0048	岐阜県多治見市池田町9丁目1の3	鈴木 文彦	0572-22-7137	0572-22-7143	722.7	258.8	指定工場	C	
4 関店	501-3253	岐阜県関市平成町4丁目1-70	近藤 亘	0575-22-0193	0575-22-2291	586.0	312.7	指定工場	C	
5 大垣長沢店	503-0833	岐阜県大垣市長沢町2丁目9-1	土本 浩司		0584-75-5161	0584-75-5163	857.1	314.2	指定工場	C
									B	
			加藤 弥						B	
6 高山インター店	506-0001	岐阜県高山市冬頭町730-1	小坂 豪俊	0577-32-9600	0577-34-3230	680.0	177.8	指定工場	C	
								B		
7 県庁前店	500-8381	岐阜県岐阜市市橋3丁目270	恩田 友	058-274-7117	058-274-7473	1003.9	324.4	指定工場	C	
			稲葉 知啓	058-273-8300	058-273-8035				23.6	B
8 各務原店	509-0146	岐阜県各務原市三ツ池町3丁目33番地	大橋 教生	058-379-5131	058-379-2760	1137.5	279.7	指定工場	C	
							30.9		B	
9 土岐泉店	509-5101	岐阜県土岐市泉町河合911-4	川原 裕二	0572-55-0301	0572-55-0304	1106.0	197.9	指定工場	C	
								B		
			杉山 徹					B		

注) (内数)とは母店の内数を示す

工場の資格認 指定は指定整備工場、認証は認証工場を示す

組織区分の意味

A=オフィス業務(事務所業務)

B=オフィス業務+自動車販売(新車、中古車)

C=オフィス業務+自動車販売(新車、中古車)+整備業務

## 【4】環境方針



### 《環境理念》

北に日本アルプスを頂、南に木曾三川の清らかな流れを有し又世界遺産そして近世日本の歴史を作った発祥の地、この自然豊かな地に岐阜スバル自動車は生業を営む。当社は、スバル車の販売・サービス（整備）等の事業活動から生ずる、環境への影響を低減する事が社会貢献の一つと考えます。また企業市民として地域への環境保全活動にも積極的に取り組んでいきます。

### 《基本方針》

この理念のもと、当社が行う自動車及び部品の販売、整備、修理、保険業務に関する事業活動が環境に与える影響を考慮し、以下の環境保全活動を推進します。

1. 事業活動の全領域で、省資源、省エネルギー（CO<sub>2</sub>削減を含む）、リサイクル、公害防止に配慮した活動を行います。
2. 環境汚染を未然に防止するとともに、環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスが継続的に出来るように推進します
3. 適応する環境関連法規、条例、および当社が同意するその他の要求事項を遵守します
4. 特に次の環境保全の重要事項に対して、環境目標を設定及び実施運用テーマとして取り組む、必要があれば見直しを行う
  - ① 省エネルギーの推進（電気使用量、燃料使用量）
  - ② 省資源（水使用量、紙使用量）
  - ③ 廃棄物の排出抑制と適正処理（一般及び産業廃棄物排出量削減）
  - ④ 化学物質管理の強化
  - ⑤ 店舗周辺の清掃活動を行い、地域の環境改善に貢献する
  - ⑥ グリーン購入法対象品の購入促進
5. この方針を全従業員に周知し、教育活動を推進します

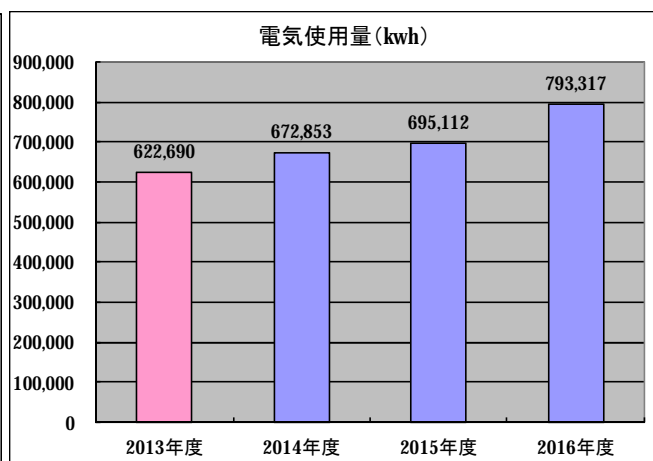
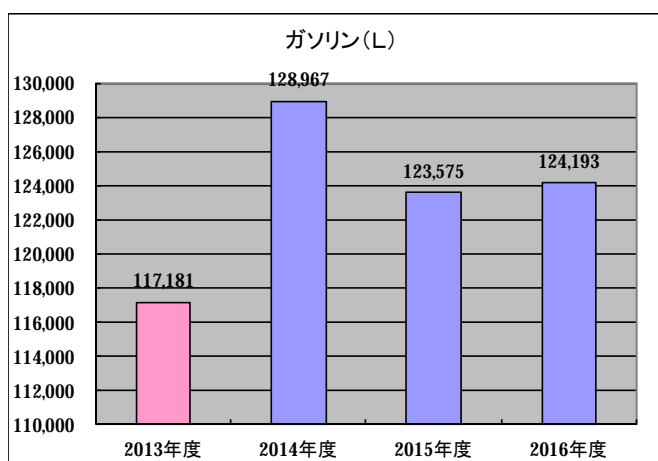
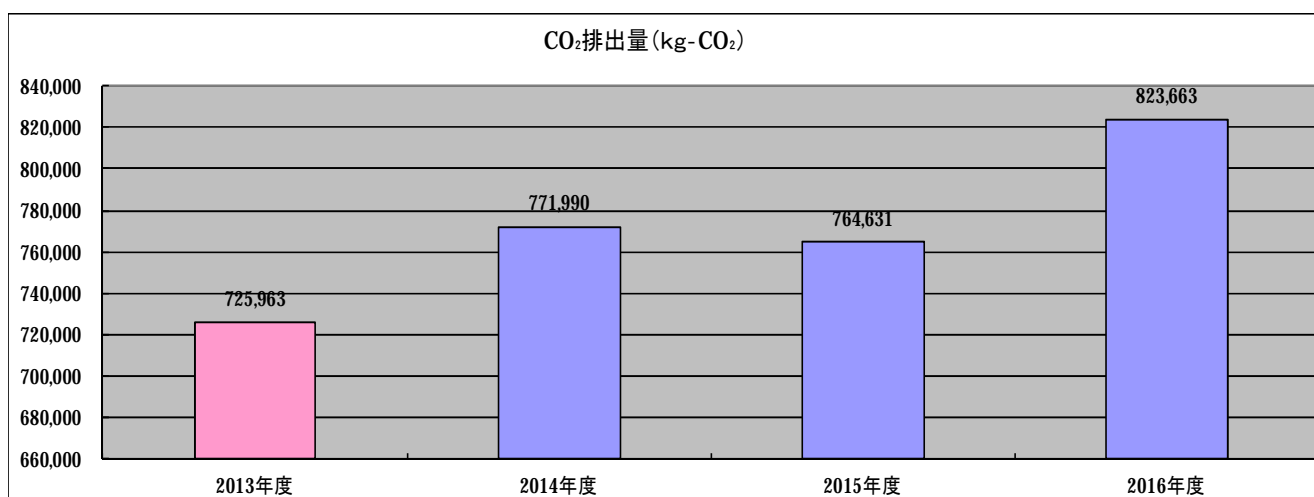
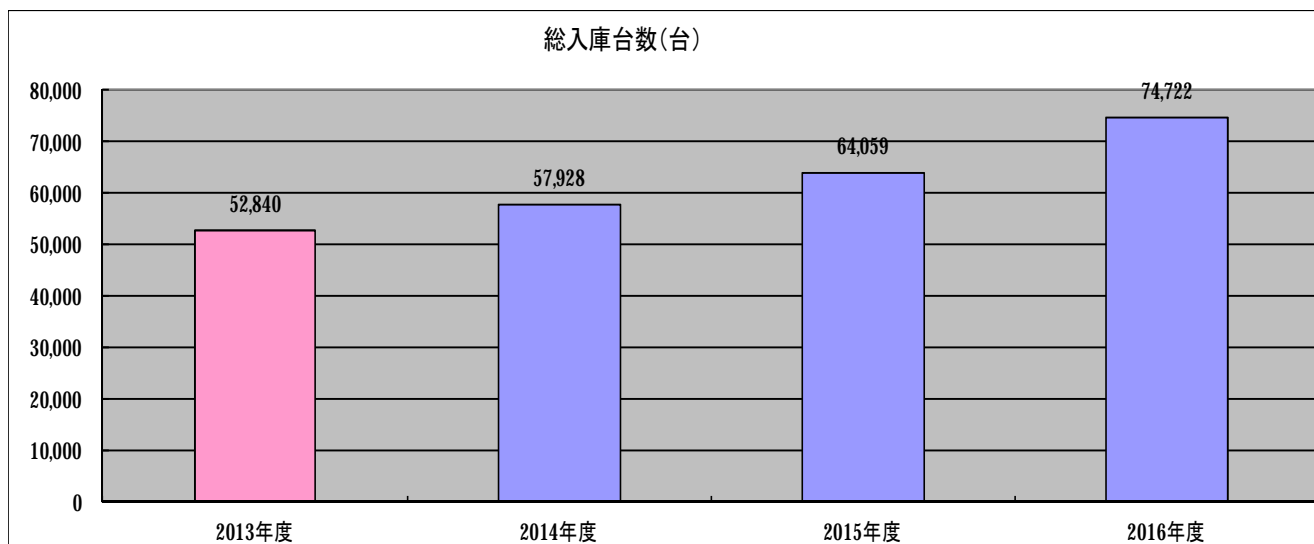
環境方針制定日 平成 21 年 2 月  
環境方針改定日 平成 28 年 6 月  
岐阜スバル自動車株式会社  
代表取締役社長 和田 哲也

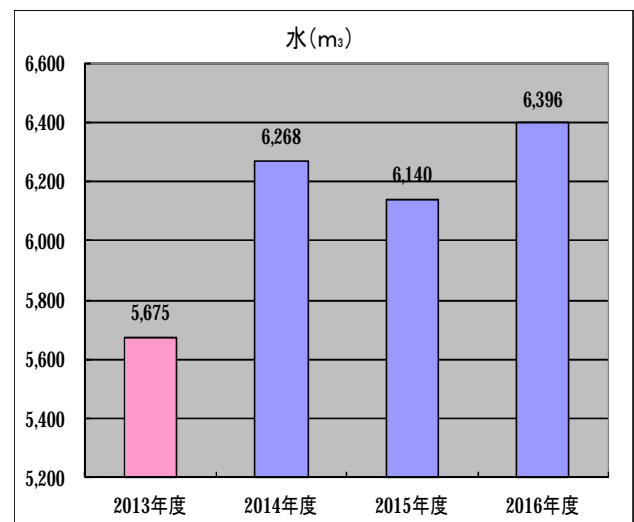
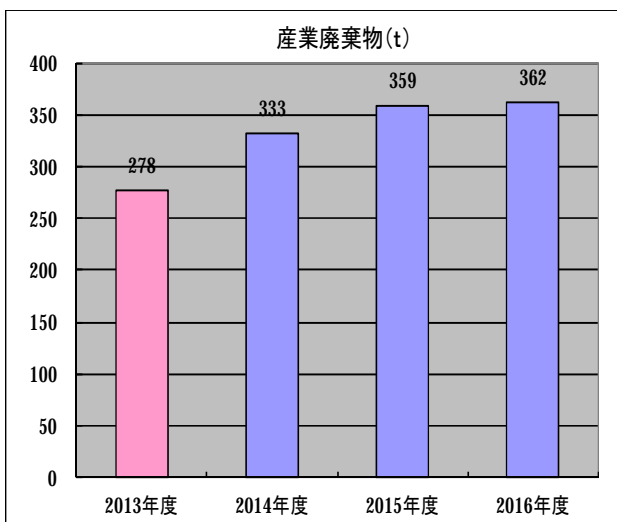
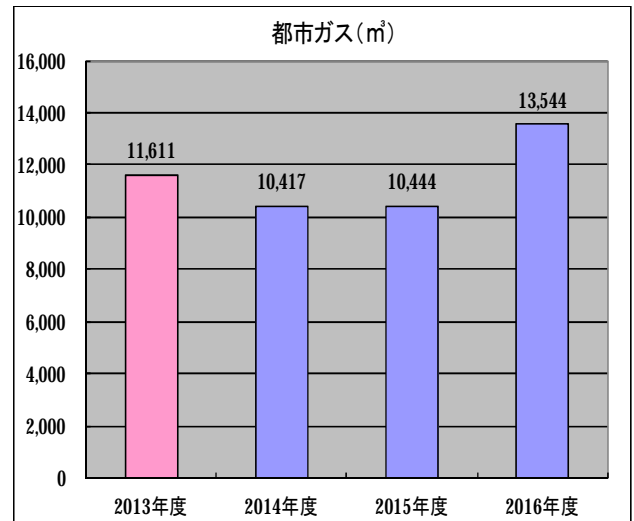
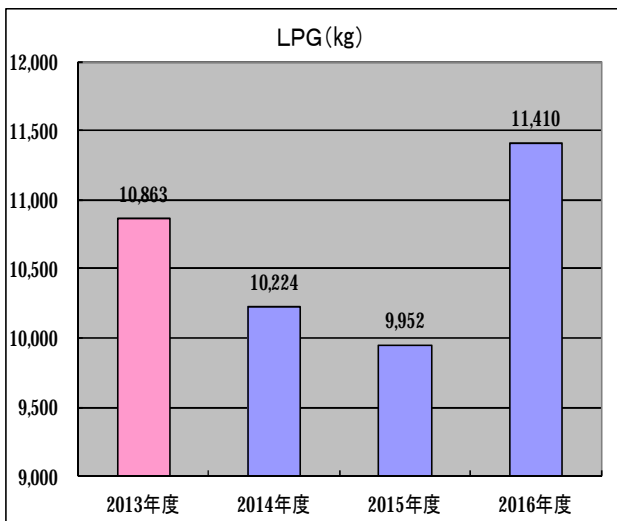
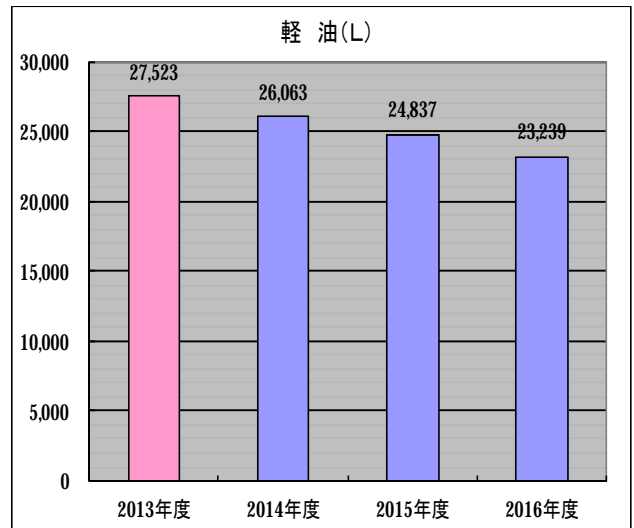
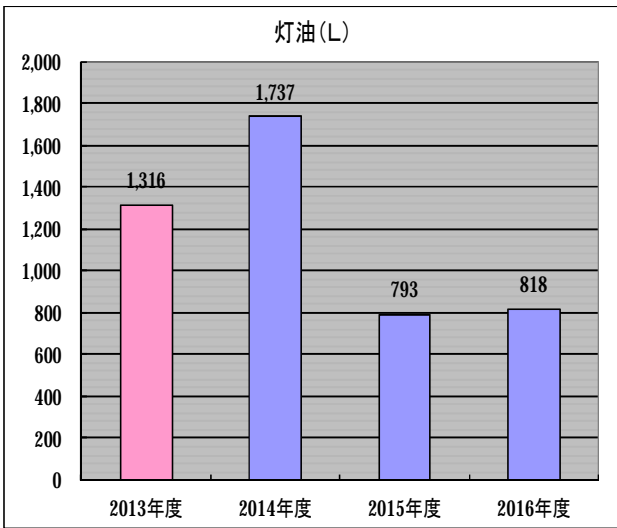
# 【5】数値実績の推移



## I. 実績数値の推移

### 1. 基準年度からの実績推移







## 【6】環境目標〔目標値〕



当社は環境への負荷状況を把握し、環境への負荷が大きいと考えられる「廃棄物の排出量」「エネルギー使用量」の削減活動に重点を置き、環境負荷の低減及び環境汚染の防止に努めます。

また、リサイクルの推進も積極的に行います。

### I. 数値実績

項目	単位	2013年度(基準値)	
電気使用量	kWh	622,690	
燃料	ガソリン	L	117,181
	灯油	L	1,316
	軽油	L	27,523
	LPG	kg	10,863
	都市ガス	Nm <sup>3</sup>	11,611
水使用量	m <sup>3</sup>	5,675	
産業廃棄物	t	278	
CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub>	725,963	
グリーン調達	品目	50	
エコタイヤ販売	%	100.0%	
エコ整備	%	59.0%	

### II. 環境目標

項目	単位	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
		基準値より3%	基準値より4%	基準値より5%	基準値より6%	
電気使用量	kWh	604,009	597,782	591,556	585,329	
燃料	ガソリン	L	113,666	112,494	111,322	110,150
	灯油	L	1,277	1,263	1,250	1,237
	軽油	L	26,697	26,422	26,147	25,872
	LPG	kg	10,537	10,428	10,320	10,211
	都市ガス	Nm <sup>3</sup>	11,263	11,147	11,030	10,914
水使用量	m <sup>3</sup>	5,505	5,448	5,391	5,335	
産業廃棄物	t	270	267	264	261	
CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub>	704,184	696,924	689,665	682,405	
グリーン調達	品目	50	50	50	50	
エコタイヤ販売	%	100%	100%	100%	100%	
エコ整備	%	60%	61%	62%	62%	

注1：2013年度（実績）を基準に年1%削減を目標に2016年～2019年度の中期計画を策定

注2：電気使用量のCO<sub>2</sub>排出係数は0.516kg-CO<sub>2</sub>/kWh  
係数は2014年度、中部電力実排出係数を使用

\*全ての年度で上記CO<sub>2</sub>排出係数を使用してCO<sub>2</sub>排出量を計算しています

# 【 7 】 2016 年度の取組



## I. 数値目標を達成させるための取組

### 1. 電気使用量削減

- ① デマンド監視による使用状況の確認
- ② 節電への取組強化を促す掲示を電源 S W 付近に貼り徹底させる
- ③ 冷暖房の温度管理（暖房 2 2℃、冷房 2 6℃）
- ④ クールビズの導入（5月～10月）
- ⑤ L E D 照明の導入

### 2. 燃料使用量削減

- ① エコドライブの啓蒙
- ② 社用車の入替え及びメンテナンス効率的な代車の使用
- ③ 自販連、無事故無違反コンクールへの参加（全ブック + 1 で 1 0 チーム参加）

### 3. 水道水使用量削減

- ① 節水への取組強化を促す掲示を行い徹底させる
- ② 車両洗車時の節水(蛇口を開きっぱなしにしない、こまめに開閉)
- ③ 省エネ型洗車機の導入（現在 4 店舗）

### 4. 産業廃棄物の削減

- ① マニフェストの管理分別再資源化の推進強化  
（バッテリー、ホイール等の有償対価にて排出）

### 5. グリーン購入

- ① 事務用品の本社一括購入
- ② グリーン関連商品の購入

### 6. 自社製品、サービスに付随する環境への配慮

- ① エコタイヤの販売
- ② エコ整備（車検時）

### 7. 地域社会への環境活動・社会貢献活動

- ① 毎週金曜日の店舗周辺の清掃活動
- ② インターンシップの受入

### 8. 化学物質の管理

- ① P R T R 対象排出物の把握

# 【 8 】 2016 年度の実績



## I. 数値実績

### 1. 基準年度比

項目	単位	2013年度実績 (基準値)	2016年度目標 (2013年基準値-3%)	2016年度実績 期間2016年4月~2017年3月	対目標 削減率	評価 判定	
電気使用量	kWh	622,690	604,009	793,317	-31%	×	
燃 料	ガソリン	L	117,181	113,666	124,193	-9%	×
	灯油	L	1,316	1,277	818	36%	○
	軽油	L	27,523	26,697	23,293	13%	○
	LPG	kg	10,863	10,537	11,410	-8%	×
	都市ガス	Nm <sup>3</sup>	11,611	11,263	13,544	-20%	×
水使用量	m <sup>3</sup>	5,675	5,505	6,396	-16%	×	
産業廃棄物	t	278	270	362	-34%	×	
CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub>	725,963	704,184	823,663	-17%	×	
グリーン調達	品目	50	50	40	-25%	×	
エコタイヤ販売	%	100%	100%	100%	0%	○	
エコ整備	%	59%	60%	60%	0%	○	

### 2. 前年度比

項目	単位	2015年度実績	2016年度実績	対目標	評価	
				削減率	判定	
電気使用量	kWh	695,112	793,317	-14.1%	×	
燃 料	ガソリン	L	123,575	124,193	-0.5%	×
	灯油	L	793	818	-3.2%	×
	軽油	L	24,837	23,293	6.2%	○
	LPG	kg	9,952	11,410	-14.6%	×
	都市ガス	Nm <sup>3</sup>	10,444	13,544	-29.7%	×
水使用量	m <sup>3</sup>	6,140	6,396	-4.2%	×	
産業廃棄物	t	359	362	-0.8%	×	
CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub>	764,631	823,663	-7.7%	×	
グリーン調達	品目	50	40	-25.0%	×	
エコタイヤ販売	%	100%	100%	0.0%	○	
エコ整備	%	60%	60%	0.0%	○	

二酸化炭素排出量は、基準年度比、前年度比でも増加した。  
この理由は、エアバックを始め多くの市場処置等入庫台数の増加と考えている。

評価の記号・・・◎目標より大幅に達成 ○目標達成 ×未達成

注1：電気使用量のCO<sub>2</sub>換算係数は0.516kg-CO<sub>2</sub>/kWh  
係数は平成24年度、中部電力実績値を使用

## II. 取組結果と評価

### 1. 電気使用量削減・・・・・・・・×

- ① 節電の意識は定着したが、整備入庫台数の大幅増に伴う工場稼働時間の延長による使用量が増加
- ② 夏の酷暑による空調使用（熱中症防止、CS向上）の増加も影響した

### 2. 燃料使用量の削減・・・・・・・・△

- ① 積載車使用量減り軽油使用量が減少
- ② 暖冬の影響もあり灯油使用量共減少
- ③ ガソリンは販売活動の試乗件数の増加や中古車販売台数の増加リコール代車の増加によりガソリンが増加した。

### 3. 水道使用量削減・・・・・・・・×

- ① 新車販売台数の増加、車検を中心に整備入庫台数の増加により洗車台数が増え水道使用量も増加した
- ② 中古車販売台数の増加により洗車台数が増加し使用量も増加した

### 4. 産業廃棄物削減・・・・・・・・×

- ① サービス入庫台数増により修理部品などの廃棄物増加
- ② 分別による再資源化の取組を強化する
- ③ マニフェスト管理継続バンパー、バッテリー、ホイール等の有価対価で排出

### 5. グリーン購入・・・・・・・・○

- ① グリーン関連商品の購入（本部一括）グリーン購入適合品、エコマーク、GPN 掲載商品の購入本部一括購入による包装、梱包の簡素化

### 6. 自社製品、サービスに付随する環境への配慮・・・・・・・・○

- ① エコ商品の提案（低燃費、排気ガス減少等の商品提案）
- ② エコタイヤの提案エコクリーナエンジン提案

### 7. 地域社会への環境活動、社会貢献活動・・・・・・・・○

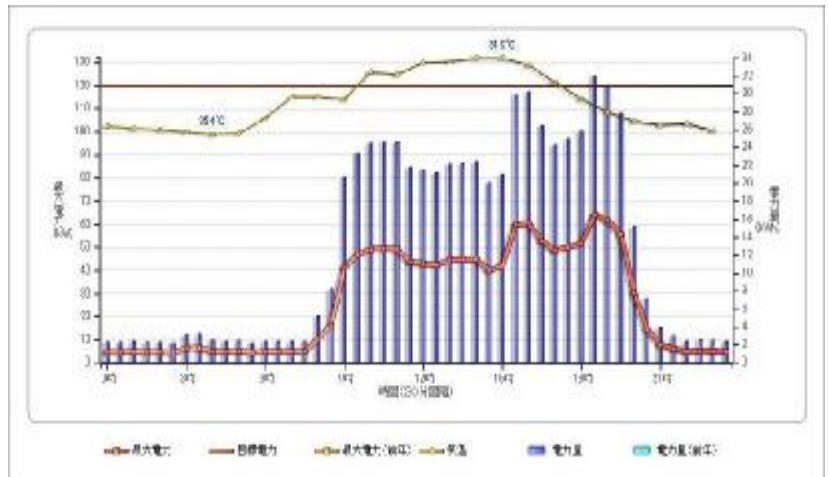
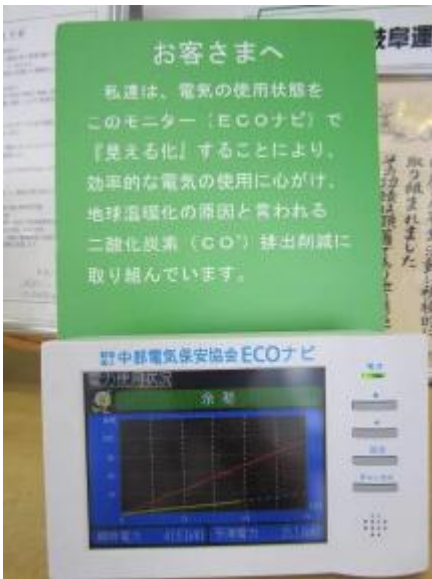
- ① 毎週金曜日の店舗周辺の清掃活動
- ② こども **110** 番店舗登録岐阜県子育て家庭応援キャンペーン事業参加（赤ちゃんステーション登録、ぎふっこカード登録店）
- ③ インターンシップの受入（地域中学生の社会体験）
- ④ 災害時協力事務所登録

### 8. 化学物質管理・・・・・・・・○

- ① 適正に管理を行っているが、取扱が少ない為記載せず

### Ⅲ. 取組事例

#### 1. 電気使用量削減



(中部電気保安協会、岐阜事業所様にもご指導、ご協力いただきました)

- ① デマンド監視サービスは、刻々と変化する電気使用量を常時監視し、管理目標として設定されたデマンド値を超過しないように警告やランプで知らせるサービスで、これにより今まで意識しなかった電気使用量が「見える化」され、電気料金が削減できるだけでなく **CO<sub>2</sub>** 削減により地球温暖化対策にも貢献します

※ デマンド値とは **30** 分最大需要電力ともいい、電力会社の電気料金算出に使われる電力値で、**30** 分単位における平均電力を現します

#### 2. 自社製品、サービスに付随する環境への配慮

##### ① エコタイヤ販売



##### 低燃費タイヤ

ブリヂストン : エコピア

ヨコハマタイヤ : ブルーアース

ダンロップ : エナセーブ

\* 転がり抵抗軽減によりガソリン代の節約や温室効果ガスの **CO<sub>2</sub>** 削減に繋がります。地球環境保全に貢献

##### ② エコ整備



##### エコクリーナーエンジン

公害防止装置(PCVバルブなど)、ブローバイガスシステムを洗浄することにより作動をスムーズにし、排ガス等を減少させ温室効果ガスの **CO<sub>2</sub>** 削減に繋がります。地球環境保全に貢献

### 3. 地域貢献

#### ① 岐阜県子育て家庭応援キャンペーン事業参加こども 110 番の家登録



ぎふっこカード



赤ちゃんステーション



こども 110 番の家

※ ぎふっこカードとは「ぎふっこカード」を持つ子育て世帯が県内の企業・店舗の協力により、買い物や施設利用などをする際に、割引やポイント加算の特典が受けられたり、買い物中に託児サービスやベビーカーの貸し出しサービス、授乳室、キッズコーナーの利用が出来たりするなど、子育て家庭を地域全体で応援していく仕組みです。

※ 赤ちゃんステーションとは岐阜県赤ちゃんステーションは、県内に所在し、「授乳の場」「オムツ替えの場」あるいは「ミルクのお湯」のいずれかを無料で提供する店舗や施設です。

※ こども 110 番の家とは「こども 110 番の家」はこども達が登下校時や遊んでいる時に不審者から「声かけ」「つきまとい」などの被害に遭いそうになった時に避難できるよう、参加整備工場では見やすい位置にこの看板を掲示しています。

## 【9】次年度の取組



### 1. 取組項目

- ① 電気使用量の削減
  - ・老朽化店舗の建て替え検討を本格化
- ② 内部監査の実施
  - ・現状を含め中間段階で内部監査を行い必要に応じて是正処置を行う
- ③ 地域社会への環境活動、社会貢献活動
  - ・全社統一で毎週金曜日の店舗周辺清掃活動を次年度も継続実施する

## 【10】環境関連法規への違反、訴訟の有無

### I. 主な環境関連法規

主な適応法規	要求事項
水質汚濁防止法	特定施設の届出(自動車自動洗車装置等)
下水道法	排水施設の設置義務 特定施設の届出
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理、処理委託業者との契約締結
消防法	少量危険物貯蔵の届出
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正処理
化管法（P R T R法）	特定物質の排出量・移動量の把握と記録
騒音規正法	特定施設の設置の届出
フロン排出抑制法	業務用エアコンの点検、清掃
浄化槽法	定期的な保守点検、清掃、法定検査の実施

### II. 違反、訴訟の有無

当社における環境関連法規への違反、訴訟はありません

尚、関係当局により違反等の指摘は過去3年間なく、自ら遵守確認しています

## 【11】代表者の評価、見直し



### I. 評価

2016年度は車両販売、整備入庫とも前年を上回る業績を上げることが出来たが、反面温室効果ガス排出量は前年を大きく上回る結果になった。

これは、車検・点検と言った基盤商品の入庫台数に加え、過去にない市場処置に対し、お客様の安全を優先に早期入庫で作業台数が増加した物と考える。

それに伴い、従業員には労長時間労働と言った労働環境のマイナス面も生まれたことは次年度の課題と言える

### II. 見直し

2017年度は多くの市場処置によるサービス入庫の増加で二酸化炭素排出量が増加する事は認識しているが、その中でも入庫台数の平準化や作業効率UPの為の設備投資を行い、従業員の労働時間に気を配り残業時間の削減、二酸化炭素排出量の削減に努める。

